

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 農業技術センター畜産技術所普及指導課
要望問題名 本県の養鶏経営に適した外部寄生虫の防除法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 本県の養鶏経営においては、外部寄生虫（特にワクモやトリサシダニ）の大量発生に伴う病害により、労働環境の悪化、産卵の低下、汚卵の発生等の大きな被害が継続して発生しており、問題視されている。他県でも研究が進んでいるが、薬剤抵抗性があることが報告されており、また、ワクモを退治しても、トリサシダニが代わりに発生するといった現場の悩みの声もある。そこで、開放型鶏舎やウインドレス鶏舎といった飼養形態も加味し、殺虫剤、天然資材（吸着、忌避）等の化学的、物理的な防除手法の組み合わせによる、本県の養鶏経営に適した外部寄生虫の防除法の検討をお願いする。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>薬剤に抵抗性を示すワクモの出現やポジティブリストによる薬剤の使用制限により、外部寄生虫防除は難しさを増しています。ワクモの防除は外部からの進入防止のための衛生管理とオールアウト後に実施する洗浄、薬剤散布による駆除が基本です。産卵中の鶏舎においては、忌避効果を示す環境制御資材の効果も期待されますが、資材により効果が異なるようです。</p> <p>外部寄生虫防除の手法は各経営体の条件により異なることから、防除方法の情報を収集し、提供していきたいと思っております。</p> <p>なお、社団法人 日本養鶏協会より「卵用鶏ワクモ対策マニュアル」が発行されていますので、参考にしてください。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考	マニュアル http://www.jpa.or.jp/news/item/2012/0313/wakumo.pdf		